

みずほCustomer Desk Report 2023/11/22 号 (As of 2023/11/21)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	148.19
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	148.40	1.0944	162.35	1.2509	0.6560
SYD-NY High	148.60	1.0965	162.39	1.2558	0.6589
SYD-NY Low	147.16	1.0900	161.27	1.2505	0.6545
NY 5:00 PM	148.39	1.0912	161.94	1.2538	0.6556
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	35,088.29	▲ 62.75	日本2年債	0.0300%	▲0.0100%
NASDAQ	14,199.98	▲ 84.55	日本10年債	0.6900%	▲0.0500%
S&P	4,538.19	▲ 9.19	米国2年債	4.8809%	▲0.0375%
日経平均	33,354.14	▲ 33.89	米国5年債	4.4078%	▲0.0362%
TOPIX	2,367.79	▲ 4.81	米国10年債	4.3965%	▲0.0282%
シカゴ日経先物	33,210.00	▲ 180.00	独10年債	2.5535%	▲0.0615%
ロンドンFT	7,481.99	▲ 14.37	英10年債	4.1035%	▲0.0195%
DAX	15,900.53	▲ 0.80	豪10年債	4.4600%	▲0.0350%
ハンセン指数	17,733.89	▲ 44.18	USDJPY 1M Vol	8.96%	0.18%
上海総合	3,067.93	▲ 0.39	USDJPY 3M Vol	8.51%	0.11%
NY金	2,001.60	21.30	USDJPY 6M Vol	8.69%	▲0.02%
WTI	77.77	▲ 0.06	USDJPY 1M 25RR	▲1.24%	Yen Call Over
CRB指数	277.06	0.44	EURJPY 3M Vol	8.23%	0.06%
ドルインデックス	103.57	0.13	EURJPY 6M Vol	8.55%	▲0.00%

東京	東京時間のドル円は148.40レベルでオープン。この日も米国感謝祭前のポジション調整の流れが継続。148円割れ後も勢い止まらず147.25まで一時下落した。引けにかけては円買いが一服しやや値を戻すと結局147.75レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.75レベルでオープン。ドル安が継続し147.16まで売られる。そこから若干反発し147.57レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2527レベルでオープン。ベイリー英中銀総裁が引き続きインフレ警戒姿勢を強調する中でポンドは堅調推移。1.2537レベルでNYに渡った。なおハンガリー中銀が政策金利を11.50%へ0.75%ポイント利下げしたが、事前予想通りであったこともあってか決定後に通貨フォイトはやや買い戻された。
ニューヨーク	海外市場のドル円は148円台半ばでスタート。前日に続き、中国当局による対ドル基準値を大幅の元高方向に設定した事や、週後半に控えている米感謝祭前のポジション調整の売りも相まって、ドル円は軟調な展開が続き、147.57レベルでNYオープン。午前中に発表された米10月中古住宅販売件数は予想を下回るも、特段材料視されず。その後、ドルが買い戻される展開となり、148円手前まで戻す。午後には米FOMC議事録が発表され、発表直後は「インフレ鈍化の進展不十分なら追加引き締め必要」等とやや効派の内容を受け、高値の148.60まで続伸。買い一巡後、148.40付近まで反落し、148.39レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台半ばでスタート。週後半に米感謝祭を控え、積極的な取引が手控えられる中、1.0950付近を挟んだ推移後、1.0949レベルでNYオープン。午前中はドル買いの流れが重しとなり、1.0919まで値を下げる。午後ドル買いの流れが続く中、1.0900まで続落し、その後1.0912レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松永・西

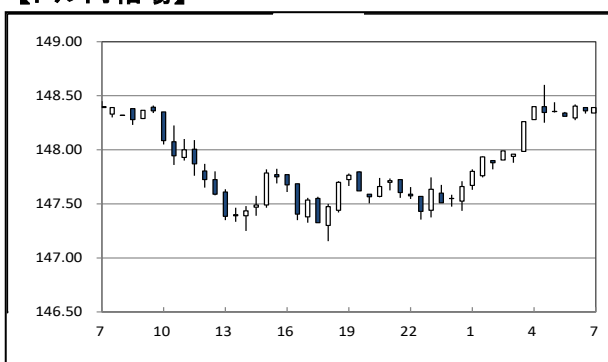
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月21日	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	10月 -0.49	0.00
	22:30	米 フィラデルフィア連銀非製造業活動	10月 -11.0	-
11月22日	00:00	米 中古住宅販売件数	10月 3.79m	3.90m
	01:00	欧 ラガルドECB総裁 講演	-	インフレに対する勝利宣言は時期尚早
	04:00	米 FOMC議事要旨	-	インフレ鈍化の進展不十分なら追加引き締め必要

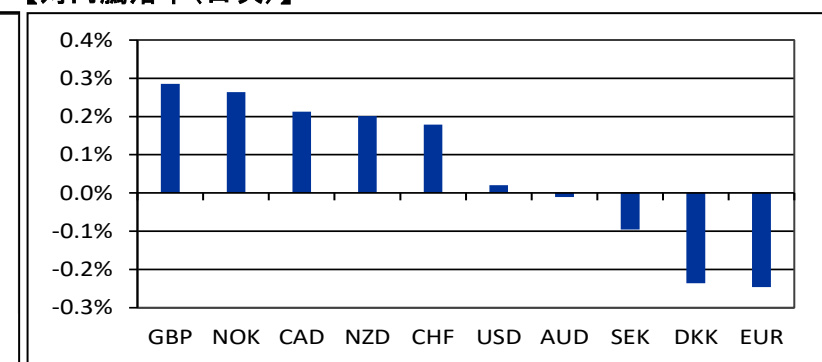
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月22日	22:30	米 新規失業保険申請件数	18-Nov 228k	231k
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	10月 -3.2%	4.6%
	22:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	10月 0.1%	0.4%
11月23日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	11月 61.0	60.4
	00:00	欧 消費者信頼感・速報	11月 -17.8	-17.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.30-149.00	1.0850-1.1000	160.50-163.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は東京時間にかけてドルの下値を探る動きが継続したものの、売リー巡後は反発。今週初からの円高進行は、週後半の米国祝日(23日は祝日、24日も米債券市場は短縮取引)を前にしたポジション調整が要因としてあろう。CFTC発表のIMM通貨先物ポジションは11月14日時点で円の売り持ちが2022年4月以来の水準まで拡大していたほか、いくつかのテクニカル的なラインを割ったことで、調整の動きが強まった様子。他方、昨日公表された11月FOMC議事要旨では、今後の利上げこそ慎重に判断する旨、示されたものの、引き続きインフレ抑制にむけて制約的な姿勢を維持することが記された。FRBが拙速な利下げを否定し、引き続き今後のデータ次第とする中、ドル売リトレンドが継続するとは想定しづらい。祝日を前に引き続きポジション調整の動きには警戒したいが、この水準では実需のドル買いも入りやすく、ドルは底堅い動きとなりそう。